

| 月 | 週 | 単元 | 小単元 | 時数 | 主な目標 | 重要観点 | 評価方法 | 指導法の工夫 | 学習のアドバイス |
|----|---|-----------------|--|----|---|----------------------------|--|-------------------------|--|
| 4 | 1 | 1章 式の計算 | 1 式の計算 | 1 | ○単項式、多項式、次数、係数の意味を理解する。 ○同類項をまとめられるようにする。 また、多項式どうしの加減ができるようにする。 ○多項式どうしの乗除、数と多項式の乗法、多項式と数の除法、乗除の混じった計算ができるようにする。 ○式を簡単化することによって、式の値が求められるようになる。 | ④ ③ ③ ③ | 中間テスト 期末テスト 小テスト 提出物 (ノート、問題集、課題プリント) 授業態度 忘れ物 発表 | 班内での教え合い学習を行う | 自信がつくまで同種の問題をくりかえしやってみよう 加法、減法が縦書きでもできるようにしておく |
| | 2 | | ① 単項式と多項式 | 3 | | | | | |
| | 3 | | ② 多項式の計算 | 3 | | | | | |
| | 4 | | ③ 単項式の乗法と除法 ④ 式の値 | 2 | | | | | |
| 5 | 1 | 2章 文字式の利用 | ① 式による説明 | 3 | ○等式を指定された文字について解けるようにする。 ○比の値を理解し、比の問題が解けるようになる。 ○数の性質が成り立つわけを、文字式を用いて説明ができるようにする。 | ③ ② ② | | | 偶数と奇数の表し方がポイントです |
| | 2 | | ① 等式の変形 | 3 | | | | | |
| | 3 | | | | | | | | |
| | 4 | | 1章のまとめと復習 | 1 | | | | | |
| 6 | 1 | 2章 連立方程式 | 1 連立方程式 | 2 | ○2元1次方程式、連立方程式の意味と連立方程式の解の意味を理解する。 ○加減法、代入法によって、連立方程式が解けるようにする。 ○文章題を、連立方程式を用いて解けるようにする。 | ④ ③ ② ① | | | 用語の意味を説明できるようにしておく |
| | 2 | | ① 連立方程式とその解 | 4 | | | | | |
| | 3 | | ② 連立方程式の解き方 | 3 | | | | | |
| | 4 | | ③ いろいろな連立方程式 2 連立方程式の応用 ① 連立方程式の応用 | 4 | | | | | |
| 7 | 1 | 3章 1次関数 | 1 1次関数 | 2 | ○関数、1次関数の意味を理解し、その特徴を式の形や変化の割合でとらえることができるようにする。 ○1次関数のグラフは直線になることを理解し、1次関数のグラフの特徴を利用して、能率よくグラフをかくことができるようにする。 ○直線の式をいろいろな方法で求めることができるようにする。 ○日常の事象の問題を、1次関数を用いて解くことができるようにする。 | ④ ③ ③ ② | 中間テスト 期末テスト 小テスト 提出物 (ノート、問題集、課題プリント) 授業態度 忘れ物 発表 | グラフが正しくかけたか友達同士でチェックしあう | 変化の割合は重要事項なので必ず求められるようにしておく 入試でもよく出題されるので自信がつくまで問題をやってみよう |
| | 2 | | ① 1次関数の値の変化 | 1 | | | | | |
| | 3 | | ② 1次関数のグラフ | 5 | | | | | |
| | 4 | | ③ 1次関数を求めること ④ 1次関数と見なすこと | 2 | | | | | |
| 9 | 1 | 2章 方程式と1次関数 | ① 2元1次方程式のグラフ | 3 | ○2元1次方程式と1次関数は、同じ関係を表していることを理解する。 ○連立方程式の解は、それらの方程式のグラフの交点の座標となっていることを理解する。 | ③ ② ③ ① | | | 解き方だけでも身につけておこう |
| | 2 | | ② 1次関数のグラフの利用 | 2 | | | | | |
| | 3 | | ③ 連立方程式とグラフ | 1 | | | | | |
| | 4 | | 3章のまとめと問題 | 1 | | | | | |
| 10 | 1 | 4章 図形の性質の調べ方 | 1 平行線と多角形 | 3 | ○対頂角、同位角、錯角の意味や平行線の性質を理解する。 ○三角形や多角形の内角や外角についての性質を理解する。 ○合同な図形の性質を理解する。 ○三角形の合同条件を理解する。 ○証明の意味および仮定、結論、定理の意味を理解する。 | ④ ④ ④ ① | | | 平行でなくても同位角、錯角と呼ばれることに注意しよう |
| | 2 | | ① 多角形の内角と外角 | 4 | | | | | |
| | 3 | | ② 平行線と角 | 1 | | | | | |
| | 4 | | 2 図形の合同 ① 合同な図形 ② 三角形の合同条件 ③ 証明のすすめ方 4章のまとめと問題 | 1 | | | | | |
| 11 | 1 | 5章 三角形・四角形・円 | 1 三角形 | 3 | ○定義の意味、定理とその逆について理解し、三角形に関する性質を証明できるようにする。 ○直角三角形の合同条件を理解する。 ○平行四辺形の性質を確かめ、それを図形の証明に用いることができるようにする。 ○平行四辺形であるための条件を確かめ、それを図形の証明に用いることができるようにする。 ○台形、長方形、ひし方、正方形の性質について理解する。 ○等積変形について理解する。 | ④ ② ④ ④ ④ ③ | 中間テスト 期末テスト 小テスト 提出物 (ノート、問題集、課題プリント) 授業態度 忘れ物 発表 | | コンパスと定規を使って図を正しく書くのが図形学習の基本です 正方形は長方形の特別なものと理解しよう |
| | 2 | | ① 二等辺三角形の性質 | 2 | | | | | |
| | 3 | | ② 二等辺三角形になるための条件 | 3 | | | | | |
| | 4 | | ③ 直角三角形の合同 2 四角形 ① 平行四辺形の性質 ② 平行四辺形であるための条件 ③ 特別な平行四辺形 ④ 平行線と面積 | 2 | | | | | |
| 12 | 1 | 6章 確率 | ① 確率の考え方 | 2 | ○身近な事象を通して、統計的確率の意味を理解する。 ○数学的確率の意味を理解し、簡単な事象の確率を求めることができるようにする。 ○樹形図や表などを用いて、確率を求めることができるようにする。 | ④ ③ ④ ② ③ ① | | | 同様に確からしいという条件が付いて数学的確率が求められることに注意しよう 樹形図を丁寧に書いてみよう |
| | 2 | | ② 確率の求め方 | 4 | | | | | |
| | 3 | | ③ いろいろな確率 | 3 | | | | | |
| | 4 | | 6章のまとめと復習 | 1 | | | | | |
| 3 | 1 | 1, 2学年の総復習 | | 13 | ○1, 2学年の学習内容を定着させる。 | ① | | | わからないところをチェックして徹底的に教えてもらおう |
| | 2 | | | | | | | | |
| | 3 | | | | | | | | |
| | | | | 計 | 105 | | | | |

評価の観点 ① 数学への関心・意欲・態度 ② 数学的な見方や考え方 ③ 数学的な技能 ④ 数量や図形などについての知識・理解

※ その年度の諸状況により、一部変更したりする場合もありますので、ご了承ください。